

混成アジア映画研究会×国際交流基金アジアセンター Presents

喪失の中の祈りと覚悟

映画が映す東南アジアの内戦・テロと震災・津波 シンポジウム・上映

2018年5月18日[金] 13:45～20:30 (開場13:15)

国際交流基金 ホール [さくら] 東京都新宿区四谷4-4-1

入場無料 (予約不要) 定員100名

東南アジア地域には、テロや内戦、災害など、突然大切なものや人を失ってしまう経験をしている人々がいます。それらの災難を描いた、インドネシア・東ティモールを主な舞台とする映画をもとに、喪失を経験した人々がどのように受け止め、再び立ち上がっていかようとしているのかを考えます。

スピーカー:

西 芳実 (京都大学東南アジア地域研究研究所准教授)

亀山 恵理子 (奈良県立大学地域創造学部准教授)

特別ゲスト:

深田 晃司 (映画監督)

モデレーター:

山本 博之 (京都大学東南アジア地域研究研究所准教授/混成アジア映画研究会)



© Kalyana Shira Films



主催: 混成アジア映画研究会、国際交流基金アジアセンター 協力: 京都大学東南アジア地域研究研究所

東南アジア地域では、人々がテロや内戦、災害など、社会的にも大きな影響を与えた問題・危機的状況を経験しており、これらを題材とした映画の制作が行われています。

今回のシンポジウム・参考上映会では、これらの問題・危機的状況をテーマに、東南アジア地域研究者によるシンポジウムと、インドネシア・東ティモールを主な舞台とする映画の参考上映を行います。

突然の災難によって、大切なものや人を失ってしまう経験をした人々が、どのようにそれらを受け止めようとしているのか、また映画を通して課題を共有し、人々や社会がどのように克服していこうとしているのかを探っていきます。

スピーカー



西 芳実 (Yoshimi Nishi)
京都大学東南アジア地域研究所准教授
専門はインドネシア地域研究。主な研究関心は災害・紛争などの災厄の語り継ぎ・語り直し。1997-2000年にインドネシア・アチェ州に留学。著書に『災害復興で内戦を乗り越える：スマトラ島沖地震・津波とアチェ紛争』（京都大学学術出版会、2014年）など。混成アジア映画研究会メンバー。



亀山 恵理子 (Eriko Kameyama)
奈良県立大学地域創造学部准教授
専門は国際開発研究。主な研究関心はグローバルな支援活動の展開過程。インドネシア・アチェ州と東ティモールで災害・紛争後の復興支援にたずさわる。翻訳『インドネシア 9・30事件と民衆の記憶』（明石書店、2009年）。混成アジア映画研究会メンバー。

特別ゲスト



深田 晃司 (Koji Fukuda)
映画監督
『歓待』（2010）で東京国際映画祭「日本映画・ある視点」部門作品賞。『ほとりの朔子』（2013）、『さようなら』（2015）を発表し、『淵に立つ』（2016）ではカンヌ国際映画祭「ある視点」部門で審査員賞を受賞。2018年5月、インドネシアで撮影を行ったディーン・フジオカ主演の新作『海を駆ける』を公開。

モデレーター



山本 博之 (Hiroyuki Yamamoto)
京都大学東南アジア地域研究所准教授
専門は東南アジア地域研究。主な研究関心は災害、映画、ナショナルイズム。マレーシア・サバ大学、在インドネシア・メダン総領事館などでの勤務を経て現職。著書に『映画から世界を読む』（京都大学学術出版会、2015年）など。混成アジア映画研究会主宰。

参考上映作品



© Kalyana Shira Films

天国への長い道 (Long Road to Heaven)

インドネシア | 2006年 | 115分 | DVD
インドネシア語・英語/日本語・英語字幕
監督: エニソン・シナロ

世界最大のイスラム教徒人口を抱えるインドネシアは、イスラムの名によるテロをどう受け止めたか。9.11以降に「テロとの戦争」が世界化する中で発生したバリ島爆弾テロ事件を、テロの企画者、実行犯、地元の人々、報道の4つの視点から描くことで、恨みの連鎖を避ける道を探る。



© Fair Trade Films

ベアトリスの戦争 (Beatriz's War)

東ティモール | 2013年 | 101分 | DVD
テトゥン語、インドネシア語/日本語・英語字幕
監督: ルイギ・アキスト、ベティ・レイス

インドネシア軍による全面侵攻以降、東ティモールにおいて占領が女たちにどのような影響をもたらしたのかが描かれる。ベアトリスの夫は虐殺を逃れたものの行方不明になるが、16年後に村に帰ってくる。だが、ベアトリスはその男性が夫であることに確信がもてない。

プログラム

13:15 開場

13:45 開会ご挨拶・当日のご案内

14:00 参考上映 映画『天国への長い道』

16:00 休憩

16:15 シンポジウム

「語りえぬ痛みを分かち合うーテロの語りへの挑戦」西 芳実

「紛争はいかに語り継がれるのかー女たちの経験」亀山 恵理子

16:55 パネルディスカッション・Q&A

18:20 休憩

18:40 参考上映 映画『ベアトリスの戦争』

混成アジア映画研究会

混成アジア映画研究会とは、混成（混血と越境）を鍵として、アジアの映画を観て愉しむとともに、アジア映画を題材にして監督・製作者の想いやアジア社会が抱える課題を考えることを通じて、アジア映画の「おもしろさ」を共有し、映画を介してアジア社会について理解を深めることを目的とする研究会です。



website:
<https://u.kyoto-u.jp/wco7y>

国際交流基金アジアセンター

独立行政法人国際交流基金（ジャパンファウンデーション）は、全世界を対象に総合的に国際文化交流事業を実施する日本で唯一の専門機関です。アジアセンターは2014年4月に設置され、ASEAN諸国を中心としたアジアの人々との双方向の交流事業を実施・支援しています。日本語教育、芸術・文化、スポーツ、市民交流、知的交流等さまざまな分野での交流や協働を通して、アジアにともに生きる隣人としての共感や共生の意識を育むことを目指しています。



website:
<http://jfac.jp/culture/>



Facebook:
<https://www.facebook.com/jfac.film/>



Twitter:
[@jfasiacenter](https://twitter.com/jfasiacenter)

お問合せ: jfac_film@jpf.go.jp

担当: 国際交流基金アジアセンター 文化事業第1チーム 山野

